

生命システム科学特別講義

# 分子フェノロジー： 植物はなぜ季節がわかるのか？

工藤 洋 先生

京都大学生態学研究センター

5月8日（月）4限 2302室

（庄原C対面実施・他キャンパスへはオンライン配信）

桜がなぜ春に咲くか、考えたことがありますか？自然環境は刻々と変化しますが、植物は決まった時期に花を咲かせます。植物は自然環境に適応して遺伝子のはたらきを調整することで、これを可能にしています。しかし植物が考慮しなければならない環境要因は、昨日今日のものだけではありません。例えば暖かい冬には花の咲く時期が狂ってきます。植物はかなり昔の環境要因も記憶しておかなければなりません。では一体、どのような環境要因が、どのようにして植物に記憶されているのでしょうか？工藤先生は、それを解き明かし、「分子フェノロジー」という分野を打ち立てた第一線の研究者です。



本講義は大学院向け講義ですが、**学部学生や教職員の聴講も歓迎**します。